

(羽咋市)



羽咋市長 岸 博一

世界農業遺産に認定された能登半島地域に位置する羽咋市は、農業が基幹産業となっています。

中山間地域にある神子原地区は、県内最大級の棚田地域で雄大で美しい田園風景が残っています。また、本市中央に広がる邑知潟周辺では、秋から冬にかけて白鳥が多く飛来することによって有名であり、近年はコウノトリの飛来も見られるようになっています。

これまでも、農薬や化学肥料を一切使用しない栽培方法である自然栽培米をはじめ有機栽培米、化学肥料・農薬3割または5割減で栽培する特別栽培米など環境保全に資する農業を推進しています。

令和8年度上半期中に、能登半島地震からの復興のシンボルとして、能登半島にトキが放鳥されることが決まっています。引き続き、環境負荷低減を目指し、栽培技術の向上や生産拡大、環境と調和した農業を生産者や関係団体と連携して取り組みながら、トキが舞う里山を目指し、有機農業産地づくりと持続可能な農業を推進するため、「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和7年7月1日